

令和2年9月 木更津市臨時教育委員会会議 会議録

1. 日 時 令和2年9月8日(火) 午後1時00分～午後1時45分
2. 場 所 木更津市役所朝日庁舎 多目的室B
3. 出席者 教育長及び委員
教育長 高澤 茂夫
委員 武井 紀夫
委員 渡部 佳子
委員 豊田 雅之
職員
教育部長 岩埜 伸二
教育部次長兼教育総務課長 中村 伸一
学校教育課主幹 内海 雅彦
(会議事務局)
教育総務課課長補佐 古賀佳代子
教育総務課主任主事 萩原奈央子
4. 傍聴人数 0名(非公開議案1件)
5. 議 案 議案第19号 木更津市立小中学校適正規模及び適正配置実施計画について
6. 報告事項 なし
7. 議事大要

○高澤教育長

定刻となりましたので、令和2年9月臨時教育委員会会議を開催いたします。

本日の会議の開催にあたりまして、井上委員から木更津市教育委員会会議規則第6条の規定により、欠席の届出がございましたのでご報告いたします。

なお、本日の会議につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第3項の規定により、教育長及び在任委員の過半数が出席しておりますので、会議は成立するものとし、これより開会いたします。

会議録署名人には、渡部委員にお願いいたします。

また、前回8月定例の会議録につきましては、武井委員と私が確認しそれぞれ署名をいたしました。

それでは、議案の審議に入ります。はじめに、議案第19号「木更津市立小中学校適正規模及び適正配置実施計画について」を議題に供します。事務局から提案理由の説明をお願いいたします。

○中村教育部次長

議案第19号「木更津市立小中学校の適正規模及び適正配置実施計画について」の提案理由をご説明申し上げます。

本計画は、2月12日に開催した本教育委員会会議において、素案を説明させていただいたものでございます。その後、令和2年3月市議会定例会の教育民生常任委員会協議会及び、

議員全員協議会で説明し、令和2年3月26日から令和2年4月24日にかけて意見公募を実施いたしました。意見公募には、102人より153件の意見をいただきました。

内訳としましては、お手元の資料のとおり

- ・東清小関係の意見が80名から128件、
- ・鎌足小中関係の意見が21名から24件、
- ・富来田小中関係が1名から1件

でございます。

その後、8月に地元説明会を実施しましたが、東清小の説明会におきましては、統合について反対意見が多く寄せられました。一方で、鎌足小・中、富来田小・中の説明会では、小規模特認校制度の導入について賛成する意見をいただいたところでございます。なお、パブリックコメント及び説明会の詳細につきましては、この後、学校教育課から補足説明いたします。

このような状況を鑑み、委員会としましては、

- ①東清小学校の統合に関しては、もう少し地元との協議・調整が必要であること。
- ②鎌足小・中、富来田小・中の小規模特認校制度の導入に関しては、来年度からの実施に向け、早期の計画策定が必要であること。

以上のことから、今回は、素案でお示しいたしました対象校を5校とする実施計画を変更し、東清小学校を除く、4校の計画として策定することとしたところでございます。計画の内容につきましては、東清小学校の記述部分を削除したものとなっておりますので説明は割愛させていただきます。

最後に今後のスケジュールでございますが、明日の教育民生常任委員会協議会及び、市議会最終日に議員全員協議会で説明した後、市ホームページ等で公表する予定でございます。なお、東清小学校の統合に関しましては、新型コロナウイルス感染症の状況を注視しつつ、保護者、地元関係者との協議を継続していく予定でございます。

説明は以上でございます。

○高澤教育長

それでは、引き続き学校教育課の内海主幹より補足説明をお願いします。

○内海学校教育課主幹

手元の資料、木更津市立小中学校適正規模及び適正配置実施計画に係る意見公募及び説明会の様子についてをご覧ください。

東清小学校の意見公募につきましては、先ほど説明がありましたとおり、128件と多くのご意見をいただきました。ほとんどが統合に反対する内容で、学童保育が素晴らしいので学校を残すべきだ、説明が不十分なのではないか、小規模特認校制度で生徒を増やすべき等の意見がございました。説明会におきましては、保護者と地域、2回に分けて行ったところですが、いずれも長時間の会議となりました。その中で、先ほど説明いたしました意見に加え、小規模特認校で生徒が増えれば統合にならないのかという質問や、新型コロナウイルス感染拡大が収まっていないなか無理に統合を進めるのか、教育委員会は地域の意見を聞くべきである、長い歴史がある学校を簡単に統合してしまうのはいかなるものかといった反対意見をいただいております。

鎌足小中学校に関する意見公募につきましては24件のご意見をいただき、多くが今後の統合について心配する声でございました。説明会でも小規模特認校制度を活用し、学校・保護者・地域・教育委員会で協力し、児童生徒数を増やしたいという建設的なご意見をいただきました。

また、富来田小中学校に関する意見公募につきましては1件、今後の通学に関するご質問をいただきました。説明会につきましては鎌足小中学校同様、小規模特認校制度による児童生徒数を増やしたいというご意見をいただいたところです。

説明は以上でございます。

○高澤教育長

ただいま、事務局から提案理由等の説明がありました。この件につきまして、ご質問はございますでしょうか。

○渡部委員

基本的な質問で恐縮ですが、小規模特認校制度については具体的にどういった制度だったでしょうか。

○内海学校教育課主幹

小規模特認校制度につきましては、生徒数の減少により複数の学年が同じ学級となってしまう「複式学級」を発生させない、解消するための取り組みとして行われているものでございます。特色のある活動を行うことにより、学区外の児童生徒を広く募集し人数の増加を図るものでございます。

○豊田委員

以前から東清小学校は小規模特認校制度を導入していたかと思いますが、具体的にいつからになりますでしょうか。

○内海学校教育課主幹

平成24年度からの実施でございます。今年度につきましては全校で8名の児童が制度を利用し通学しております。

○武井委員

令和2年度に東清小学校に入学した児童数は2名となっておりますが、これは小規模特認校制度を利用した児童は入っているのでしょうか。

○内海学校教育課主幹

こちらはあくまで区域内の児童数となっております。なお今年度は区域内の児童2名、小規模特認校制度を利用した児童が1名おりますので、実際には3名の入学者となります。また令和3年度以降につきましても、小規模特認校を利用する児童数は予測ができないためあくまで区域内の児童数見込みとなっております。

○岩埜教育部長

複式学級につきまして、若干補足をさせていただきます。基準として、小学校ですと1年、2年の人数を足して8人以下になりますと複式学級となります。それ以降、例えば2年、3年の人数を足して16人以下ですと複式学級となりますので、今後の児童推移を見ていただくと分かる通り複数の学年において複式学級が発生する見込みとなります。それを踏まえまして統合の説明会を開催させていただきましたが、地域の方からは小規

模特認校制度を利用し児童数を増やす等のご意見が多く、現段階で当初の予定通り統合を進めることは非常に難しいのではないかと結論となりました。今後、説明会等を再度持ったうえで時間をかけながらご理解いただくということで、今回の実施計画からは一旦外させていただいた次第です。

○武井委員

中郷中学校の統合の際も反対意見等をいただいたかと思いますが、最終的に統合という形になりました。そういった説明もされたのでしょうか。

○岩埜教育部長

中郷中学校につきましても、やはり複式学級が発生してしまうためといった形で話を進めておりました。ただ東清小学校については、先ほどご説明しましたとおり小規模特認校制度で、という意見を強くいただいたところです。また教育委員会の周知も足りないのではないかとのご指摘等もいただきました。以上を鑑み、時間をかけて改めて調整をしていく必要があるとの結論に至ったものでございます。

○高澤教育長

また、実施計画（素案）の段階では令和3年度末までに統合という予定で進めておりましたが、今年は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、説明会の開催等が遅れたという現状もございます。進捗をみますと予定より4か月以上遅れている状態です。今から令和3年度末までの統合となりますと、これから統合準備会の立ち上げ、また南清小学校との統合を考えておりますので、両校の交流事業等も統合前に持ちますが、そういった時間がすぐには取れないこと等があり、日程的にもかなり厳しいのではないかとこの面もございます。それに加えまして先ほどからご説明しておりますとおり、地元の方々からも多くのご意見をいただいておりますので、ひとまず今回の実施計画からは外させていただくということでございます。

一方で、将来的に統合を進めていくという姿勢に変更はございませんので、今後時間をかけてご説明していければと考えております。

○武井委員

東清小学校について、当初の予定通り進めるのは難しいとの内容は分かりましたが、スケジュール等について後ろにずらした形で計画を出すのではなく、やはり一度計画から削除という形になるのでしょうか。

○岩埜教育部長

今後のスケジュール等がまだ確定していないこともあり、また現状、地域説明会等に時間がかかるだろうという見込みから一旦計画から外させていただき、改めて説明会を開催したのち、スケジュールを再度立ててまいりたいと考えております。

○渡部委員

今後のスケジュールについては完全に白紙ということでしょうか。

○岩埜教育部長

少なくとも令和3年度末は難しいというのは先ほどご説明したとおりでございます。時期については様々な要件、新型コロナウイルスの関係でいつ説明会ができるのかといったことから、児童の交流、閉校に向けた実行委員会の立ち上げや説明会の様子を踏ま

えてということになりますので、現時点ではやはり未定になります。

○高澤教育長

ほかにご質問がなければ、ご意見はございますでしょうか。

<意見なし>

ご意見がなければ、採決に移ります。議案第19号「木更津市立小中学校の適正規模及び適正配置実施計画について」につきまして、原案どおり賛成の方、挙手をお願いいたします。

<挙手全員>

賛成全員で原案どおり決定いたしました。

以上で、本日予定しておりました議案の審議を終了いたします。

続きまして、報告事項ですが、今月の報告事項はありません。

続きまして、その他の事項ですが、今月のその他事項はありません。

その他、委員からご意見等ございますか。

○武井委員

今年の夏についてかなり暑い日々が続きました。登下校時に児童生徒が日傘を差すことについては木更津市教育委員会としてはどういったお考えをお持ちなのでしょうか。

○内海学校教育課主幹

富来田中学校につきましては、子ども達に日傘の使用をしてもかまわないとの呼びかけをしたと聞いております。ただ実際の子どもの反応として、そこまでは必要ないと考えた児童がほとんどだったということです。

○武井委員

基本は日傘の使用有無については教育委員会ではなく、各学校の判断になるということでしょうか。

○高澤教育長

教育委員会として呼びかけはしておりませんので、各学校に判断を任せております。東京等では傘の分、ソーシャルディスタンスが保てるとの理由で推奨しているところもあるようですね。

○渡部委員

コロナに関連してですが、登下校時のマスク着用についてはどういった指導をされているのでしょうか。

○内海学校教育課主幹

ソーシャルディスタンスが保てるようであればマスクの着用は必須ではないとの説明をしております。熱中症の心配等もありますので、そういった面も考慮しての指導となります。

○高澤教育長

ほかになければ、その他を終了いたします。

以上をもちまして、令和2年9月臨時教育委員会会議を終了いたします。

會議録署名人 教 育 長
委 員